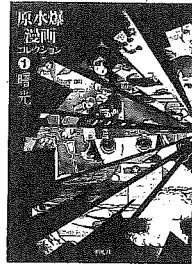


読書情報

原爆や水爆などの悲劇を描いた1950～70年代の漫画を収めた『原水爆漫画コレクション』（全4巻、各2800円）＝写真＝が平凡社から出版された。手塚治虫、赤塚不二夫、滝田ゆうなど多くの漫画家の作品が収められている。

白土三平「消え行く少女」（第3巻収録）は、ある少女が被爆し、原爆症に苦しむうえ、周囲の人間にいじめられ



る。少年少女向けの作品にこれほど重い世界が描かれていた。花乃かおる「ピキニ 死の灰」（第1巻収録）は、第五福竜丸事件を扱った実録風の作品だ。核の問題から受けた日本人の傷が、戦後の子ども文化に深い陰影を与えていたことに、改めて驚かされる。